



南小だより



学校教育目標 自信をもち 自分の力を発揮する子

明日は「節分」、明後日は「立春」、暦の上では春です。冬の終わりから春先にかけては、寒い日が3日続くと、その後の4日ほどは温暖な日が続くことがあり、「三寒四温」と言われます。元々は真冬の気候を表す言葉だったのですが、日本では2月から3月にかけての気温の変化が表れやすい時期に使われるようになっていきます。

暖かな春はもうすぐですが、体調にはまだまだ気をつけてお過ごしください。

校歌の話を知ろう

本校では、毎年5年生が横地地区在住の 福嶋 勲 先生(元校長)をお招きして、「校歌の話を知ろう」を開催しています。福嶋先生は、1969年から6年間、教諭として本校に在職されました。

当時、南小学校には校歌がなかったため、福嶋先生が自ら校歌を作ってくださいました。福嶋先生は94才になった現在でも大変元気で、今回も校歌を作った当時の事や歌詞に込められた思いを話してくださいました。

4月から最上級生となる5年生が、今まで以上に誇りをもって校歌を歌えるようになることを期待しています。

(校長 杉山豊和)

1 歌詞について

1番…南の山のウバメガシ。きれいな緑の若芽のように。

みんな、明るく、生き生きと伸びよう。 < 明朗 >

2番…西の田の稲穂。黄金色に実っているように。

みんなの心も育つように、楽しく学ぼう。 < 学習 >

3番…東の山の朝日。光り輝いて上ってくるように。

みんな、元気に進もう、伸びよう。 < 前進 >



2 曲想について

やさしく歌いやすい 明るくはぎれ良く 生き生きと弾むように

*毎日の学校生活の様子を「小笠南小ニュース」で紹介しています。
是非、御覧ください。

<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ogasaminami/news.html>

